

第1部 景観形成の考え方

1 - 1 西宮市の景観

(1) 西宮市の景観の成り立ち

西宮市の景観は、山や河川、海等の地形、地質、気候、植生等の自然をいかしながら、先人が歩んできた歴史や地場産業、祭り・行事等の文化を土台として、その上に繰り広げられる現在のわたしたちの暮らしや営みを映し出しています。

ここでは、西宮市の景観の成り立ちを、①基盤となる豊かな「自然」、②受け継がれてきた「歴史・文化」、③現在のわたしたちの「暮らし・営み」の3点から読み解いていきます。

① 基盤となる豊かな「自然」

→ 解説：1-4 ページ

西宮市では、山から海に至る地形がコンパクトにまとまり、六甲山系を境に、市域の景観特性は南北で大きく異なるものとなっています。六甲山系の南部では、背景となる六甲山系の山々からの尾根がひだ状に張り出し、段丘上の緑に包まれた住宅地形成に適した丘陵地や台地をつくりだしています。また、市内各所からのランドマークとなる甲山や、景観の軸となる武庫川や夙川等の河川や河川敷緑地、自然海浜を有する海辺等は、広大な市街地が広がる都市景観にゆとりと潤いを与えています。一方、六甲山系の北部では、六甲山系・北摂山系の山々に囲まれた緑豊かな盆地状・谷筋状の景観がつくりだされています。このような豊かな自然環境は、西宮市の文教住宅都市としての発展を支え続け、現在の西宮市の景観を特徴づける基盤となっています。

② 受け継がれてきた「歴史・文化」

→ 解説：1-5 ページ

市域南部の平坦地には、古くから廣田神社、西宮神社の門前町が栄え、京都・大坂と西国を結ぶ西国街道や中国街道が交差する交通の要衝・宿場町としても発展しました。また、北部の山間地には、有馬温泉に至る湯山街道（有馬街道）や三田街道が通り、生瀬が宿駅として栄えました。このように、街道・古道を中心に古くから集落が営まれるなかで、農林漁業や酒造、名塩紙等の地場産業、祭りや行事等が育まれてきました。

明治から大正にかけて鉄道網が整備された中で、大阪・神戸の中間に位置する西宮では、良好な自然



西宮市鳥観図（昭和26年、吉田初三郎作、西宮市所蔵）をもとに作成

環境の魅力とあいまって、昭和初期にかけて鉄道会社や資産家による沿線でのレクリエーション施設や住宅地の開発が進んだ結果、多くの人々が移り住み、戦前に至るまで「阪神間モダニズム」と呼ばれる芸術・文化・生活様式が花開きました。また、沿線宅地開発が進むなかで、その周辺地域でも耕地整理が進められ、住宅都市としての基盤が形成されていき、特別市税の受益者負担を求めつつ夙川河川敷緑地の整備が進められるとともに、昭和初期以降、多くの私立大学が良好な教育環境を求めて移転し、文教住宅地としての個性的な景観の礎が形成されました。

そして、その後も戦災復興土地区画整理や宅地造成等によって、住宅市街地はさらに拡大し、高度経済成長期には良好な住環境を求めて大阪等から多くの人々が移り住み、住宅都市としてのより一層の発展をみせてきました。

このように、六甲山系・北摂山系の山並みや甲山等を背景とし、山や川、海等に恵まれた自然環境を身近に感じられる緑豊かな住宅地のまちなみは、長年にわたって培われてきた文教住宅都市・西宮の象徴とも言える景観となっています。

③ 現在のわたしたちの「暮らし・営み」

→ 解説：1-6 ページ

駅前再開発や公園・緑地の整備、街路整備等の都市空間の整備や臨海部の埋め立て等と、それらに伴う拠点となる地区の景観整備が進められ、生活拠点としてのにぎわいのある駅前等の商業景観や臨海部等の産業景観が形成されてきました。

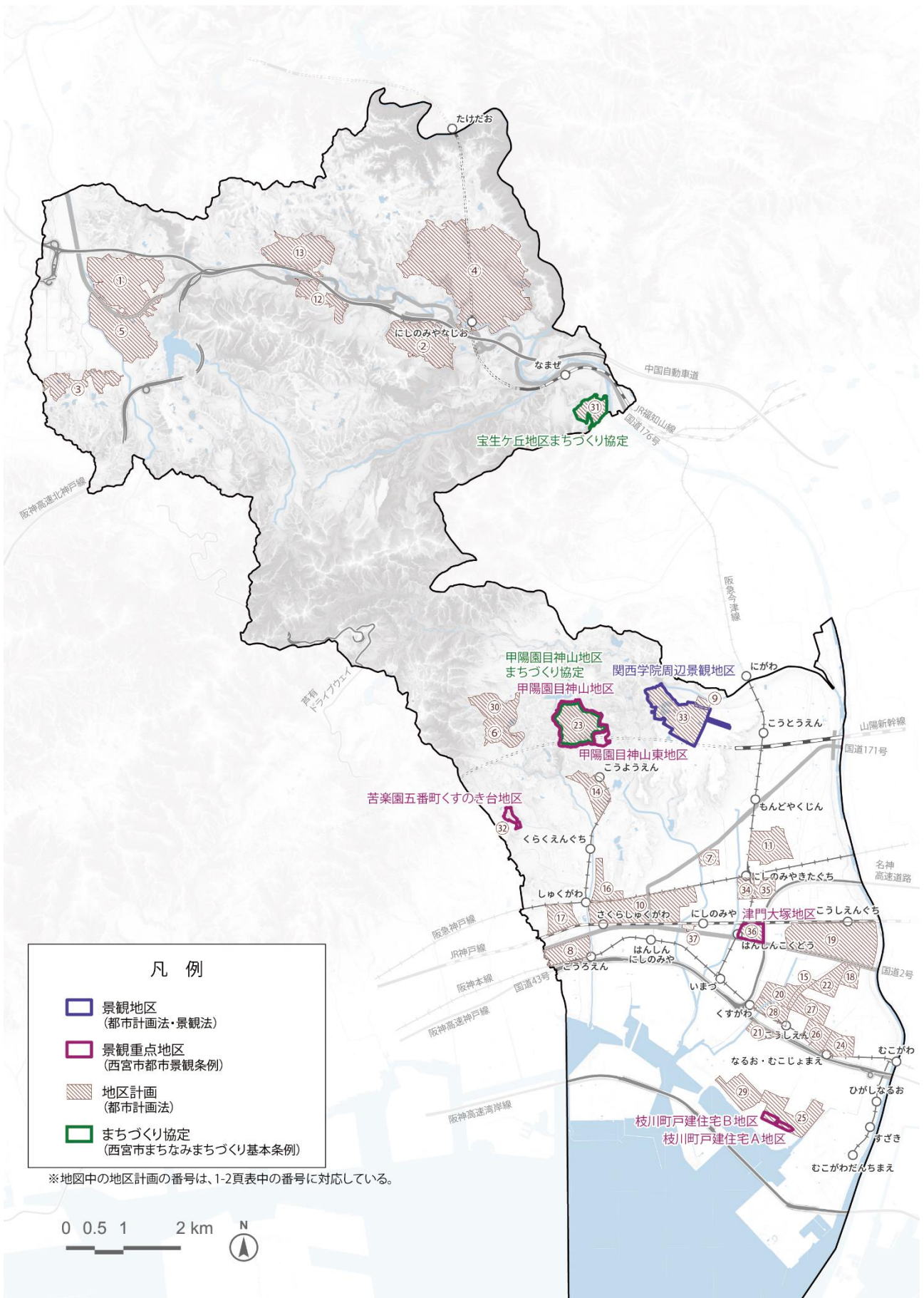
阪神・淡路大震災後の震災復興土地区画整理事業等により、震災復興と密集市街地の解消が進められるなかで、これまでの低層住宅の景観から中高層住宅の景観へと住宅景観が大きく変容してきました。このようななかで、住民提案による地区計画や都市景観条例に基づく景観重点地区等の制度を活用した地域特性にあわせた景観形成が数多く行われ、ゆとりと潤いある住宅地のまちなみや住環境の保全に寄与してきました。一方で、景観行政では、景観計画の策定や景観地区の指定、まちなみまちづくり基本条例の制定等、景観に関連する各種法制度を積極的に活用し、さらなる景観形成の推進を図ってきています。

このように、西宮市では、文教住宅都市として成熟しながら、それにふさわしい魅力的な景観がまもり、そだて、つくり出されてきています。

● 地域特性をいかした景観形成のための地区指定等

制度	地区	地区数		
景観地区 (都市計画法・景観法)	・ 関西学院周辺景観地区	1 地区		
景観重点地区 (西宮市都市景観条例)	・ 甲陽園目神山地区 ・ 津門大塚地区 ・ 枝川町戸建住宅 B 地区	6 地区		
地区計画 (都市計画法)	①北六甲台地区 ④名塩ニュータウン地区 ⑦大畑地区 ⑩安井地区 ⑬西宮名塩さくら台地区 ⑯夙川駅北東地区 ⑲甲子園口地区 ⑳甲子園二・三番地区 ㉑甲子園団地 ㉒甲子園浦風地区 ㉓宝生ヶ丘地区 ㉔関西学院周辺地区 ㉕津門大塚地区	②名塩南台地区 ⑤上山口・丸山地区 ⑧森具地区 ⑪西宮北口駅北東地区 ⑭若江・神園地区 ⑰夙川霞・松園地区 ⑳甲子園浜田地区 ㉑甲陽園目神山地区 ㉒上鳴尾地区 ㉓浜甲子園地区 ㉔苦楽園五番町くすのき台地区 ㉕西宮北口駅南地区 ㉖ J R 西宮駅南西地区	③すみれ台地区 ⑥剣谷地区 ⑨仁川五ヶ山地区 ⑫名塩平成台地区 ⑮甲子園三保地区 ⑯甲子園一番地区 ⑳甲子園洲鳥地区 ㉑里中地区 ㉒甲子園五番・花園地区 ㉓鷺林寺南地区 ㉔西宮北口駅南東地区	37 地区
まちづくり協定 (西宮市まちなみまちづくり基本条例)	・ 宝生ヶ丘地区 ・ 甲陽園目神山地区	2 地区		

● 地域特性をいかした景観形成のための地区指定等（位置図）



基盤となる豊かな「自然」

● 背景となる六甲山系・北摂山系の山並み

- ・六甲山系の山並みは、市域南部の各地域の景観の背景となり、住宅地では、石積みや生垣・庭木と一体となって緑豊かな住宅地のまちなみを演出し、道路や河川では緑のアイストップとなっています。
- ・また、河川敷緑地や公園、農地等と連なって緑豊かな自然景観を創出しています。
- ・市域北部は、周囲を六甲山系と北摂山系の山々に囲まれた盆地状・谷筋状の地形により、山並みを背景とした緑豊かな景観が広がっています。



西宮浜から甲山・六甲山系を望む

● ランドマークとなる甲山・丸山

- ・市域南部の多くの地域から、甲山の美しい山容を眺めることができ、西宮市の景観を特徴づけるランドマークとなっています。
- ・関西学院大学の時計台への眺めは、甲山を背景に取り入れ、より一層魅力的なものとなっています。
- ・市域北部の山口地区では、かつて山口氏が丸山城を築いた丸山がランドマークとなっています。



甲山を背景に取り入れた関西学院大学時計台

● 景観の軸となる河川・海辺

- ・市域南部を大阪湾へと注ぐ武庫川や夙川等、市域北部の山間を縫うように流れる船坂川、名塩川等の河川は、うるおいを与える水辺景観をつくり出すとともに、景観の軸となっています。
- ・特に夙川や武庫川の河川敷のマツやサクラの並木は、帯状に連なって緑の軸をつくりだしています。
- ・臨海部は、大阪湾を取り囲む広域的な臨海軸の一部をなすとともに、阪神間では数少ない自然海浜が残る御前浜・甲子園浜では、多くの野鳥が飛来する風景も見られます。



夙川河川敷緑地と甲山

● 快適な都市景観をつくりだす市街地内の多様な緑

- ・山や海といった景観の骨格となる自然・緑地に囲まれた市街地には、境内林や住宅地の庭木や生垣、文教施設の樹林、公園緑地や街路樹、農地等の多様な緑がゆとりとうるおいのある快適な都市景観をつくり出しています。
- ・特に西宮神社や廣田神社、越木岩神社等の境内林は、地区のランドマークにもなっています。



西宮神社の境内林

受け継がれてきた「歴史・文化」

● 緑豊かな住宅地・文教施設

- ・近代以降、鉄道網の整備に伴い、山麓を中心に鉄道沿線では郊外型の娯楽施設や住宅開発が盛んに進められ、実業家や芸術家、文化人等の多くの人々が移り住み、「阪神間モダニズム」と呼ばれる芸術・文化・生活様式が開花しました。
- ・初期に開発された郊外住宅地に見られる石積みや生垣・庭木が連なる緑豊かな住宅地景観は、現在も西宮市を象徴する景観となっています。それらと併行して周辺地域でも区画整理が進められ、西宮市街の骨格となる住宅景観も形成されてきました。
- ・昭和初期には、上ヶ原に関西学院が、岡田山に神戸女学院が移転し、近代洋風建築からなる校舎群が独特の景観を形づくっています。
- ・武庫川女子大学や聖和大学、大手前大学等の多くの文教施設が西宮市に移転・開校し、10の大学・短大が位置する文教都市が形成されました。
- ・その後も、北部の自然に囲まれた住宅地、南部の丘陵地を中心とした低層住宅地、臨海部の高層住宅地等の開発が進められ、豊かな自然や歴史的背景の中で育まれた特徴ある住宅地の景観が形成されてきました。



甲陽園目神山町の石積み・生垣・庭木が連なる家並み



神戸女学院の緑豊かな樹林

● 重層的な歴史を感じられる旧集落、歴史的建造物、寺社等

- ・古くから西国街道や中国街道、湯山街道（有馬街道）、三田街道等の街道・古道が通る交通の要衝であり、それらの道筋や寺社の門前等を中心に数多くの集落が営まれました。
- ・広大な住宅市街地の中にも、古くからの集落や歴史的な建造物、寺社等が残り、地域の景観のアクセントになるとともに、背後にある歴史・文化の物語を感じることができる重層的な景観をつくり出しています。



船坂の旧集落景観

● 歴史的な風致を感じられる祭り・行事や産業

- ・市内各地の旧集落では、農林漁業や酒造、名塩紙等の地場産業を育んできました。
- ・古くから伝わる祭りや行事は、ハレの景観をつくり出し、旧集落や寺社等の歴史的建造物と一体となって歴史的な風致を感じることができます。



生瀬皇太神社の秋祭り

現在のわたしたちの「暮らし・営み」

● 景観資源の保全・形成

- ・ 景観の背景となる六甲山系の山林は、瀬戸内海国立公園六甲地域や風致地区に、市街地内の貴重な樹林等は景観樹林保護地区や天然記念物等に、臨海部の自然海浜は鳥獣保護区や生物保護地区に指定され、良好な自然景観の保全が図られています。
- ・ 山麓の住宅地は、風致地区や景観地区、景観重点地区等に指定して、緑豊かなまちなみ景観の保全・形成を図っています。
- ・ この他にも用途地域や高度地区等による良好な居住環境の形成に加え、景観重要建造物、都市景観形成建築物や保護樹木、文化財の指定等による個々の景観資源の保全等を図っています。
- ・ このように、西宮市の景観を特徴づける景観資源について、各種法制度を活用することで、現在の良好な景観の保全・形成に努めています。

● 景観づくりの核となる駅前や街路、公園緑地等の整備

- ・ 阪急西宮北口駅をはじめとする各駅前や主要幹線道路等の街路樹、市民の憩いの場となる公園緑地等の整備等、都市景観の拠点や緑景観の軸・拠点を形成しています。

● 社会経済活動を反映した商業景観・産業景観の形成

- ・ 駅前を中心とした商業地、周辺地域のための小規模な店舗による商業地、幹線道路沿道の商業地等では、賑わいと活気を感じられる景観が形成されています。
- ・ 南部市街地の内陸部に集積する酒造業や食品関連業、臨海部の埋立地や北部の山口地区の流通業等、各々の業務に特化した産業地の景観も形成されています。

● 市民等の日々の暮らしと景観形成活動

- ・ このように「自然」や「歴史・文化」を反映した都市空間を舞台に人々の暮らし、営みが繰り広げられ、生き生きとした景観が形成されています。
- ・ 市民の手による地区計画や建築協定等によるルールづくりや緑化活動等のまちづくり活動、さらには、活動団体等により各地域の景観資源の掘り起こしやマップづくり等の取り組みも進められています。これらの景観形成に関わる各種活動が、現在の西宮市の景観を形成する重要な要素となっています。



松山大学温山記念会館（旧新田長次郎邸）
【都市景観形成建築物】



阪急西宮北口駅前



臨海部の工場景観



甲陽園目神山地区まちづくり協議会

(2) 西宮市の景観特性 ～「にしのみや」らしい景観～

西宮市の景観は、山や川、海等の豊かな自然の恵みもとに、それらを景観の背景やランドマークとして、また、身近な自然として取り込みながら暮らしの場を築き、文化を育み、生き生きと暮らすなかで発展・成熟させてきた文教住宅都市の景観といえます。

そこには、石積みや生垣・庭木が連なる住宅地や緑豊かな文教施設をはじめとして、歴史的な旧集落や建造物、寺社、祭り・行事、地場産業等、各地域の自然、歴史・文化の特色を反映したさまざまな景観要素が相互に関係し合い、多様な個性をもつ景観が散りばめられていることが特徴となっています。

このことから、西宮市の景観特性（「にしのみや」らしい景観）は、次の3点に整理できます。

① 豊かな自然景観

夙川や武庫川等の帯状に連なる緑の軸や、六甲山系等の山並みや甲山への眺め等は、山から海に至る一体的な景観を創り出しています。また、それらの自然は、豊かな動植物を育み、四季の移ろいを感じることができるとともに、人々が集い、憩い、市民のみならず多くの人から愛される場となっています。

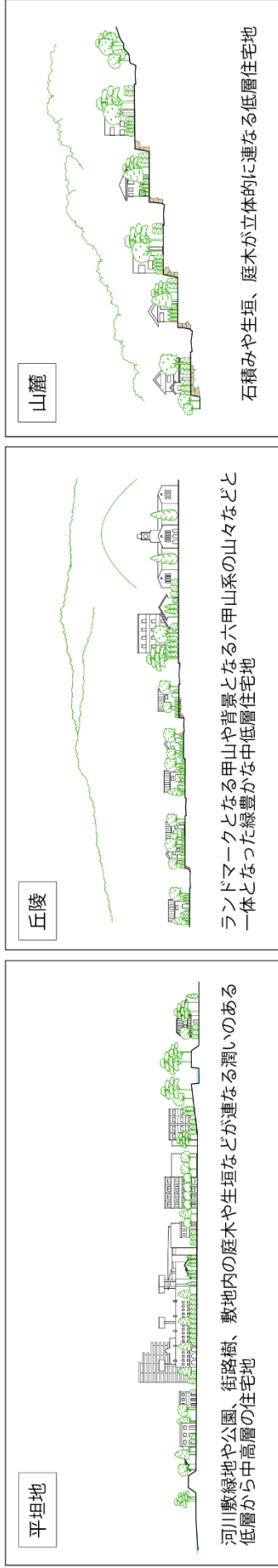
② 潤いと落ち着きある緑豊かな住宅景観

豊かな自然との調和がもたらす潤いや落ち着き、「阪神間モダニズム」に代表される高い文化性や都市の風格は、居住や教育に適した住みよい環境・景観を創り上げています。その魅力は、多くの人や企業、大学を呼び込んで豊かな文化的活動を生み出し、さらなる魅力的な景観を創り出し続けています。

③ 多様な地域景観

西宮市には歴史的な旧集落や近代以降の住宅開発地等、各地域の歴史・文化を反映したさまざまな住宅地の景観が広がっています。また、そのなかには生活拠点としてのにぎわいのある駅前等の商業景観や臨海部等の産業景観等も形成されており、基盤となる自然景観や住宅景観のうえに、多様な地域特性が散りばめられた景観が創り出されています。

● 西宮市の景観特性（断面構成と多様な住宅地）



平地地

河川敷緑地や公園、街路樹、敷地内の庭木や生垣などが連なる潤いのある低層から中高層の住宅地

丘陵

ランドマークとなる甲山や背景となる六甲山系の山々などと一体となった緑豊かな中低層住宅地

山麓

石積みや生垣、庭木が立体的に連なる低層住宅地

六甲山系

大阪湾

甲山
(ランドマーク)

山間新幹線

山麓

丘陵

山間旧集落

山間新市街地

多様な住宅地の類型

臨海

都市核

平田地

丘陵

山麓

山間旧集落

山間新市街地

臨海

工業・流通産業地と区分された低層から中高層の計画的住宅地

都市核

商業・業務施設等とともに駅前の都市的な景観を構成する中高層住宅地

山間旧集落

農家等の歴史的な建築物が点在する旧集落

山間新市街地

自然豊かな山間に計画的に開発された中低層住宅地

● 西宮市の景観特性図



(3) 西宮市の景観の課題と取り組みの方向性

① 「にしのみや」らしい住宅景観の形成

【課題】

- ・宅地の細分化が進む中、石積みや生垣・庭木が連なる「にしのみや」らしさを感じられる歴史ある住宅景観が失われつつあります。
- ・建築物の中高層化や産業地の土地利用転換が進む中で、中高層住宅と低層住宅や産業施設等が互いに配慮なく混在したまともに欠ける住宅景観も見られるようになっていきます。
- ・新たに建てられる低層住宅や中高層住宅の中には、これまで積み重ねられてきた地域の特性が尊重されず、全国一律の量産的な形態・意匠・色彩や外構デザインが用いられるものも多く、地域の景観に対する誇りや愛着の形成に結びつかない無性格なまちなみが創り出されてきています。

【方向性】

- ・歴史ある緑豊かで良好な住宅景観を保全するとともに、「にしのみや」らしい住宅景観のイメージを共有し、文教住宅都市の基盤となる住宅景観の質を高めていくことが求められます。

② 市民の誇りや愛着の拠り所となる景観資源の保全

【課題】

- ・大規模かつ高層化した建築物等によって、市街地や旧集落から六甲山系・北摂山系の山並みや甲山等を美しく眺められる場所も少なくなってきました。
- ・多くの場所から眺められる対象にもなる丘陵・山麓部等では、豊かな自然景観を形成していた樹林・緑地等が減少しつつあります。
- ・社会背景等の変化から、地域の景観のシンボルとなる歴史的な建築物が存続の危機に瀕し、中には取り壊され、歴史や文化の趣が失われてしまった旧集落や通りも見られます。

【方向性】

- ・山や川、樹林、眺め、歴史的建築物やまちなみ等の景観資源を再認識し、大切に守るとともに、その魅力を引き出しながら、市民にとって誇りや愛着が持てる個性的な景観をつくり育てていくことが求められます。

③ 都市空間を構成するあらゆる要素間の調和を通じた秩序ある景観の形成

【課題】

- ・商業地や幹線道路の沿道を中心に、派手な色彩の建築物や屋外広告物、過剰な照明等が用いられ、連続性を感じさせる形態や意匠に乏しく、雑然とした印象を与えるところも見られます。
- ・産業地では、緑も乏しく、機能性だけを重視した大規模で無表情な建築物等も見られ、住宅地では、周辺との連続性等に欠ける建築物や外構が良好な住宅景観に影響している場所も見られます。
- ・道路や鉄道の高架等の巨大な構造物や太陽光発電施設等が景観に影響を及ぼしている地域も見られます。

- ・これらは、都市の賑わいや機能性、利便性、環境性等を享受できる反面、景観を構成する各要素間の調整を要する事例も多くなっています。

【方向性】

- ・都市空間のあらゆる要素が目に見える景観の構成要素となっていることを認識し、周辺の景観との調和に配慮した規模や配置、形態・意匠・色彩・材料等の採用や植栽等により、修景措置を講じつつ、さまざまな景観要素間の調和を図って一定の秩序ある景観を形成していくことにより、都市機能の充実と景観形成の調整を図ることが求められます。
- ・景観は時間によっても変化し、配慮すべきことも変わるということを認識し、昼間景観だけでなく良好な夜間景観の形成も求められます。

④ 公共空間等の質の高い景観整備

【課題】

- ・西宮市の景観の骨格となる道路や河川、また景観づくりの核となる駅前や市街地の緑景観の拠点となる公園・緑地等の公共施設や公共空間について、街路樹の整備や護岸整備、再開発等に伴う景観形成が図られているものの、一部では雑然とした景観や地域特性をいかしきれていない景観のまま残されているものも見られます。

【方向性】

- ・公共施設や公共空間等の景観は、市民等の景観に対する意識啓発を促す役割を果たすと同時に、地区の景観の顔にもなる重要な役割を担うことから、継続的に質の高い景観整備を推進していくことが求められます。
- ・それらは周辺の建築物や土地利用等と一体となっはじめて良好な景観が形成されることから、市民等の意見を聞きながら、市民や行政をはじめとした関係する各主体が景観形成のあり方を共有して取り組んでいくことが求められます。

⑤ 市民等による景観形成活動のさらなる展開

【課題】

- ・現在も市民等による各種景観形成活動が展開されていますが、それらは一部の市民等に限定されています。景観形成について多くの方々に興味や関心を持っていただく必要があります。

【方向性】

- ・行政では、景観に対する意識啓発のための各種施策を展開していくとともに、景観づくりの拠点となる公共空間等の整備やモデル地区の景観形成による目に見える事例づくり、さらには、景観形成活動に対する支援制度の拡充の検討等を行いながら、市民や事業者ひとりひとりが景観を意識するための取り組みのきっかけづくりや継続的な取り組みの推進を図っていくことが求められます。
- ・文教住宅都市としての西宮市の特徴をいかし、学校教育と連携した子ども達への景観教育や景観づくりの活動、大学や企業等と連携した景観形成活動等、多角的な視点からさまざまな主体が連携しながら景観形成活動の展開を図ることが求められます。

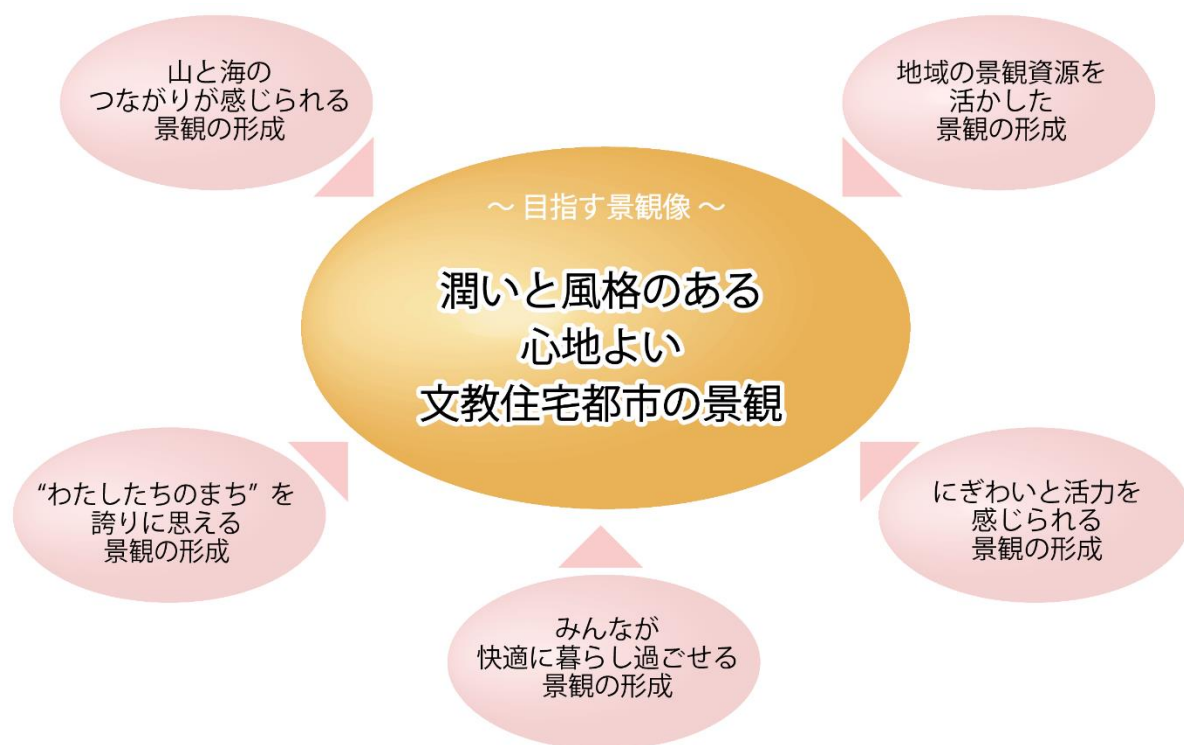
(1) 目指す景観像

西宮市の景観のポテンシャルを引き出し、「にしのみや」らしい景観を維持・向上するとともに、現在抱えている景観の課題を解決して、美しく、生き生きとした景観を形成していくことが求められます。

このためには、「山と海のつながりが感じられる景観の形成」、「わたしたちのまち”を誇りに思える景観の形成」、「地域の景観資源をいかした景観の形成」、「にぎわいと活力を感じられる景観の形成」、「みんなが快適に暮らし過ごせる景観の形成」がポイントであり、これらの各景観の形成を通じて、文教住宅都市宣言に掲げる「憩いと安住の地」にふさわしい景観を育み、西宮市まちなみまちづくり基本条例に示す基本理念の具現化に取り組んでいくこととします。

そこで、西宮市が目指す景観像を「**潤いと風格のある 心地よい 文教住宅都市の景観**」と設定します。

● 西宮市が目指す景観像



西宮市まちなみまちづくり基本条例（抜粋）

第1条 基本理念

本市におけるまちづくりは、文教住宅都市宣言に基づき、人々に憩いと安住の地を提供する上質な住宅都市であり続けるために、恵まれた自然、歴史、文化、教育環境等をいかし、周辺のまちなみや環境と調和した美しいまちの実現を目指すことを基本とする。

(2) 景観形成の基本方針

目指す景観像を具現化するため、次の5つの基本方針を設定します。

基本方針1 山と海のつながりが感じられる景観の形成

- 山間（やまあい）ー山麓・丘陵ー平地ー臨海という、それぞれの地勢を反映した景観づくりを進めることにより、西宮市の山から海へと至るコンパクトにまとまった地形構造を感じられる景観を創出します。
- ランドマークとなる甲山や丸山への眺めや背景となる六甲山系・北摂山系の山並み、武庫川や夙川等の河川、主要な幹線道路や鉄道等、複数の地域を視覚的・空間的に結びつける要素のつながりのある緑豊かな景観を保全し、遠景として一体感と潤いを感じられる景観を形成します。

※特に関係する景観の特徴、課題を示す。
各番号はそれぞれ次のページを参照
・「にしのみや」らしい景観 → 1-7 ページ
・景観の課題 → 1-10～1-11 ページ

「にしのみや」らしい景観				
①	②	③		
景観の課題				
①	②	③	④	⑤



基本方針2 “わたしたちのまち”を誇りに思える景観の形成

- 西宮の景観を象徴し、市民の心を結びつける甲山や夙川等を大切にしたい景観形成を推進し、“わたしたちのまち”西宮への誇りと愛着を育みます。
- 現在に受け継がれる緑豊かな住宅景観を保全し、そこにみられる長年にわたって培われてきた景観形成の手法も継承して、潤いと風格を感じられる住み良いまちとして誇りに思える景観を形成します。

「にしのみや」らしい景観				
①	②	③		
景観の課題				
①	②	③	④	⑤



基本方針3 地域の景観資源をいかした景観の形成

- 自然や歴史・文化等が創り出す地域固有の景観資源を手掛かりに、景観を構成する各要素の調整を図ることで、豊かな地域性を感じられる文教住宅都市の景観を形成します。
- 各地域の住民が主体となって、景観資源の保全・活用に取り組むことで、人と人がつながる良好な居住環境づくりや生き生きとした地域づくりに結び付けます。

「にしのみや」らしい景観				
①	②	③		
景観の課題				
①	②	③	④	⑤



基本方針4 にぎわいと活力を感じられる景観の形成

- 文教住宅景観を基盤とした上で、駅前や沿道のにぎわいのある商業景観、臨海部・内陸部の活力を感じられる産業景観等の多様な景観との調和を図り、文教住宅都市としてのまとまりのある景観を形成します。
- 駅前等の地域の中心となる区域では、にぎわいのなかにも秩序を感じられる質の高い景観の形成を進め、地域の景観の顔となり、景観形成の拠点となる景観を形成します。

「にしのみや」らしい景観				
①	②	③	④	⑤
景観の課題				
①	②	③	④	⑤



基本方針5 みんなが快適に暮らし過ごせる景観の形成

- 文教住宅都市として、居住や教育に適した住みよい環境を守り、育み、多くの人々に“住みたい”、“住み続けたい”と思われるような魅力的な景観を形成します。
- 西宮を生活の場とするさまざまな主体による日々の暮らし、営みが、生き生きと輝いて見える舞台となる景観を形成します。

「にしのみや」らしい景観				
①	②	③	④	⑤
景観の課題				
①	②	③	④	⑤



(3) 景観構造の考え方

「①景観ゾーン・景観エリア」、「②景観軸」、「③景観核・景観拠点」、「④眺望ポイント」の4つの構成要素をもとに目指す景観像を実現するための「西宮市の景観構造」を1-20 ページ及び1-21 ページのとおり設定します。

それぞれの構成要素の設定の考え方は次のとおりです。なお、(4) から (7) において、構成要素ごとに、建築行為等、景観形成の取組にあたって参照すべき景観形成の基本的な方向性を示します。

① 景観ゾーン・景観エリア

【設定目的】

「景観ゾーン」は、山間ー山麓・丘陵ー平坦地ー臨海という4つの地勢ごとに、土地利用等を越えたまとまりのある景観形成を進めることにより、西宮市の山から海へと至る地形的な特徴を感じられる景観を創り出すために設定します。

一方で、景観形成にあたって配慮すべき事項は、建てられる建築物等の用途や高さ、規模等によって大きく異なります。したがって、土地利用等が類似する区域ごとに「景観エリア」を設定し、景観形成の配慮事項を示すことで、土地利用等に応じた景観への適切な配慮を促すこととします。

【設定方法】

「景観ゾーン」は、「山間」、「山麓・丘陵」、「平坦地」、「臨海」の4つの地勢を、それぞれ「山間景観ゾーン」、「山麓・丘陵景観ゾーン」、「平坦地景観ゾーン」、「臨海景観ゾーン」に設定します。各景観ゾーンの境界は、都市レベルの景観の骨格をつくる地形地物（稜線や崖線、道路等）を境界として設定します。

「景観エリア」は、都市計画法に基づく市街化区域・市街化調整区域の区域区分、用途地域、風致地区、地区計画の指定状況をもとに、『西宮市都市計画マスタープラン』における土地利用方針との整合を図りつつ、「自然景観エリア」、「集落景観エリア」、「低層住宅景観エリア」、「中低層住宅景観エリア」、「都市型住宅景観エリア」、「商業景観エリア」、「産業・住宅景観エリア」、「流通産業景観エリア」、「沿道商業景観エリア」の9つの景観エリアを設定します。

「景観ゾーン」と「景観エリア」の関係

地形的なまとまりに基づく「景観ゾーン」のなかに、土地利用等に応じて「景観エリア」を設定します。

異なる景観ゾーンにも、同じ名称の景観エリアを設定しますが、前提となる景観形成の基本的な方向性は、各景観エリアが属する景観ゾーンに従います。

※例えば、「景観ゾーンB／景観エリア③」では、景観ゾーンBの「景観形成の基本的な方向性」を前提とした上で、景観エリア③の「景観形成の基本的な方向性」に留意する必要があります。

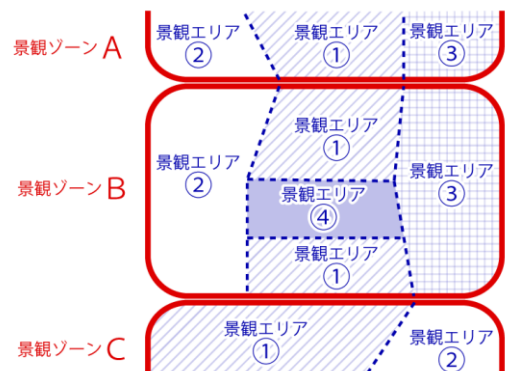
● 設定イメージ・模式図

景観ゾーン

西宮市の地形的な特徴を感じられるまとまりのある景観形成のために設定します。

景観エリア

土地利用等に応じた景観への適切な配慮を促すために設定します。



● 景観ゾーンの設定

区分	概要	おおむねの境界
山間景観ゾーン	保全緑地・共生緑地等の山林・樹林と、それらに囲まれた旧集落や住宅開発地等が織りなす豊かな自然景観を呈する区域	地形（稜線）
山麓・丘陵景観ゾーン	背景となる山林・樹林と斜面地の緑や石積みが創り出す立体的で奥行きのある緑豊かな住宅景観を呈する区域	
平坦地景観ゾーン	交通網の集積を背景に、住宅地を基盤としながらも、商業・業務、産業等のさまざまな用途が展開する都市的な景観を呈する区域	地形（崖線）
臨海景観ゾーン	海を感じることができる住宅景観・産業景観を呈する区域	臨港線

● 景観エリアの設定

区分	概要	対象とする区域の目安
自然景観エリア	山林・樹林等の自然緑地による自然景観を主とする区域	市街化調整区域
集落景観エリア	古くからの旧農村集落の佇まいを残す景観を主とする区域	用途地域が1低専、2低専の区域のうち、『西宮市都市計画マスタープラン』における土地利用方針で「農住共存地」とする区域
低層住宅景観エリア	住宅地のうち、低層住宅による住宅景観を主とする区域	用途地域が1低専、2低専の区域（集落景観エリアに該当する区域を除く）、及び風致地区（自然景観エリアに該当する区域を除く）
中低層住宅景観エリア	住宅地のうち、中低層住宅による住宅景観を主とする区域	用途地域が1中高、2中高、1住居、2住居、準住居の区域（都市型住宅景観エリアに該当する区域を除く）
都市型住宅景観エリア	駅及び商業地周辺に広がる中低層住宅景観を主とする区域	用途地域が1中高、2中高、1住居、2住居、準住居の区域のうち、『西宮市都市計画マスタープラン』における土地利用方針で「都市型住宅地」とする区域
商業景観エリア	駅周辺等の都市・地域の中心となる商業・業務景観を主とする区域	用途地域が商業、近商の区域
産業・住宅景観エリア	産業施設と住宅が共存する景観を主とする区域	用途地域が工業、準工の区域のうち、駅前や『西宮市都市計画マスタープラン』における土地利用方針で「歴史的産業地」とする区域等
流通産業景観エリア	産業団地等の流通産業施設による景観を主とする区域	用途地域が工業、準工の区域（産業・住宅景観エリアに該当する区域を除く）
沿道商業景観エリア	国道沿道の商業・業務景観を主とする区域	用途地域が商業、近商、工業、準工、2住居、準住居の区域のうち、国道沿道の区域

● 景観ゾーンと景観エリアの対応

景観ゾーン \ 景観エリア	自然景観エリア	集落景観エリア	低層住宅景観エリア	中低層住宅景観エリア	都市型住宅景観エリア	商業景観エリア	産業・住宅景観エリア	流通産業景観エリア	沿道商業景観エリア
山間景観ゾーン	○	○	○	○		○		○	○
山麓・丘陵景観ゾーン	○		○	○		○			
平坦地景観ゾーン			○	○	○	○	○		○
臨海景観ゾーン				○		○	○	○	

② 景観軸

【設定目的】

河川や道路、山並み、海岸線等の線状・帯状に連なって都市の骨格（フレーム）となる景観要素について、市域内の各景観ゾーンや近隣都市とのつながりを感じられる景観形成、並木や建築物等が創り出す奥行きを感じられる景観形成、眺めや連続的な移り変わりに配慮した景観形成を図ることで、都市の魅力の向上に取り組むために設定します。

【設定方法】

特に多くの人々が目にし、西宮の景観イメージを形成する河川、道路、山並み、海岸線を対象に「河川軸」、「道路軸」、「山並み軸」、「海岸軸」の4種類の景観軸を設定します。

● 景観軸（都市景観軸）の設定

区分	概要	対象	
河川軸	河川及び河川沿いの緑がつくる豊かな自然景観の連なりと、上下流方向への広がりのある眺めを創り出す軸	『西宮市都市計画マスタープラン・まちづくり方針図』の水と緑の軸の河川	<ul style="list-style-type: none"> ・武庫川 ・新川 ・東川 ・津門川 ・夙川 ・仁川 ・太多田川 ・名塩川 ・船坂川 ・有馬川
道路軸	軸方向への眺めを創り出す軸であり、沿道の建築物や樹木等が一体となって移り変わり、つながりを感じられる景観形成を図る軸	『西宮市都市計画マスタープラン・都市空間整備方針図』の都市軸（広域）	<ul style="list-style-type: none"> ・国道2号 ・国道43号 ・札幌筋線・国道171号 ・国道176号 ・主要地方道大沢西宮線
山並み軸	市街地や旧集落の景観の背景となる山並み・稜線の軸	『西宮市都市計画マスタープラン・まちづくり方針図』の水と緑の軸の山系	<ul style="list-style-type: none"> ・六甲山系 ・北摂山系
海岸軸	大阪湾の臨海部に連なる埋立地による住宅・産業景観の軸	『西宮市都市計画マスタープラン・まちづくり方針図』の水と緑の軸の海辺	<ul style="list-style-type: none"> ・臨海地域

また、地域ごとの景観軸を地域別構想で位置付け、それらをいかした景観の骨格形成を図ります。

③ 景観核・景観拠点

【設定目的】

景観形成にあたって常に配慮されるべき核となる資源や地域の顔になる地区、参考にされるべきモデル的な景観の形成を図る地区を景観核・景観拠点とし、市民にとって誇りや愛着が持てる個性的な景観の形成や西宮らしい文教住宅景観の波及を促すために設定します。

【設定方法】

市内各地域から眺められるような西宮の豊かな自然を象徴する山を景観核（ランドマーク）に設定します。

市内外の多くの人々が利用する鉄道駅周辺地区や地域の中心地区、文教住宅都市としてのモデルとなる住宅地や文教施設を景観拠点に設定します。

● 景観核・景観拠点の設定

区分		概要	対象	
景観核	ランドマーク	市内各地域から眺められ、西宮の豊かな自然を象徴する美しい山容を呈する山	『西宮市都市計画マスタープラン』（景観特性図）のランドマーク	・ 甲山 ・ 丸山
景観拠点	地域の中心地	市内外の多くの人々が利用する鉄道駅周辺地区等、都市・地域の顔となる地区	『西宮市都市計画マスタープラン』（まちづくり方針図）の「都市核」「地域核」	・ 阪急西宮北口駅周辺 ・ 阪神西宮駅・JR西宮駅周辺 ・ 阪急今津駅・阪神今津駅周辺 ・ 阪急夙川駅周辺 ・ 阪急苦楽園口駅周辺 ・ 阪神甲子園駅周辺 ・ JR甲子園口駅周辺 ・ 阪急甲東園駅周辺 ・ JR西宮名塩駅周辺 ・ 国道176号沿道から山口センターの地域
	モデルとなる住宅地	石積みや生垣・庭木が連なり、西宮の住宅景観のモデルとなる住宅地	西宮市都市景観形成基本計画（1989計画）の都市景観類型「住宅景観」のうち歴史ある住宅開発地	・ 甲陽園 ・ 苦楽園 ・ 鷲林寺南町・剣谷町 ・ 殿山町・雲井町 ・ 南郷町・名次町 ・ 上甲東園
	緑豊かな文教地	文教都市を象徴する緑豊かな大規模文教施設	『第5次西宮市総合計画』に示す文教拠点等	・ 関西学院大学 ・ 神戸女学院大学 ・ 武庫川女子大学 ・ 大手前大学

また、地域ごとの景観拠点を地域別構想で位置付け、それらをいかした景観の骨格形成を図ります。

④ 眺望ポイント

【設定目的】

眺望景観は、多くの人々が西宮市の景観特性を理解・共有し、都市イメージの形成や発信につながり得るものです。したがって、建築物・工作物・屋外広告物等を眺望景観に配慮したものへと誘導し、眺望景観の保全・形成を図るとともに、良好な眺望景観を積極的に市内外に発信し、西宮市の都市イメージの向上や景観に対する意識啓発等を図るために設定します。

【設定方法】

西宮市の景観特性を感じることができる眺望景観の視点場（公共の空間や施設（寺社境内を含む）に位置するものに限る）を「眺望ポイント」と設定します。なお、眺望ポイントについては、今後も、市民等や活動団体等からの提案に基づいて追加を検討します。

● 眺望ポイントの設定

視点場→視対象		
・西宮大橋→六甲山系、甲子園浜等	・甲子園浜橋→六甲山系、自然海浜等	・阪神高速湾岸線→六甲山系
・浜夙川橋→甲山	・武庫大橋→六甲山系	・学園花通り→甲山
・甲山森林公園（展望台）→南部市街地	・西宮浜総合公園→六甲山系	・塩瀬中央公園→六甲山系
・金仙寺湖→丸山・畑山	・神呪寺→南部市街地	

また、地域ごとの眺望ポイントを地域別構想で位置付け、それらをいかした景観の骨格形成を図ります。

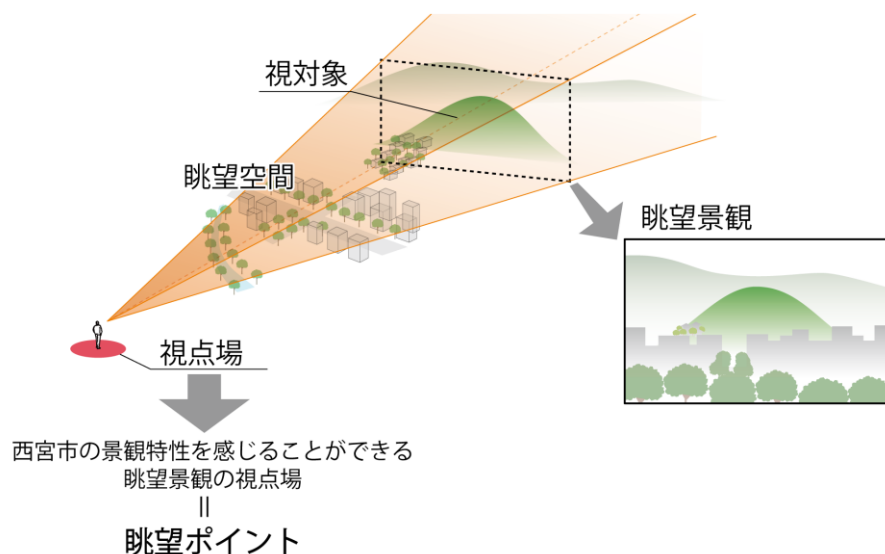
眺望景観の構成と「眺望ポイント」

視 点 場：視点（見る人）が位置する場所。

視 対 象：視点場からの眺めの対象物

眺望空間：視対象の前景及び背景等、視点場から特定の視対象を眺める時に視界に入る空間

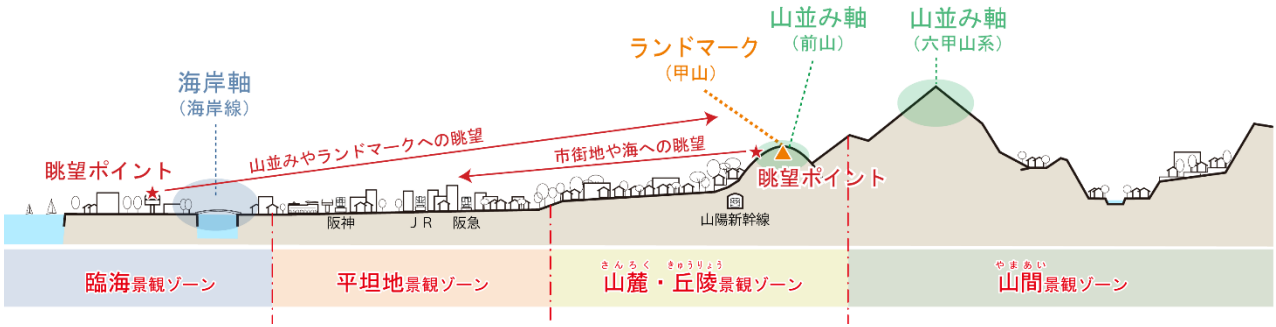
眺望ポイント：ランドマークを望む等、西宮市の景観特性を感じることができる代表的な眺望景観の視点場



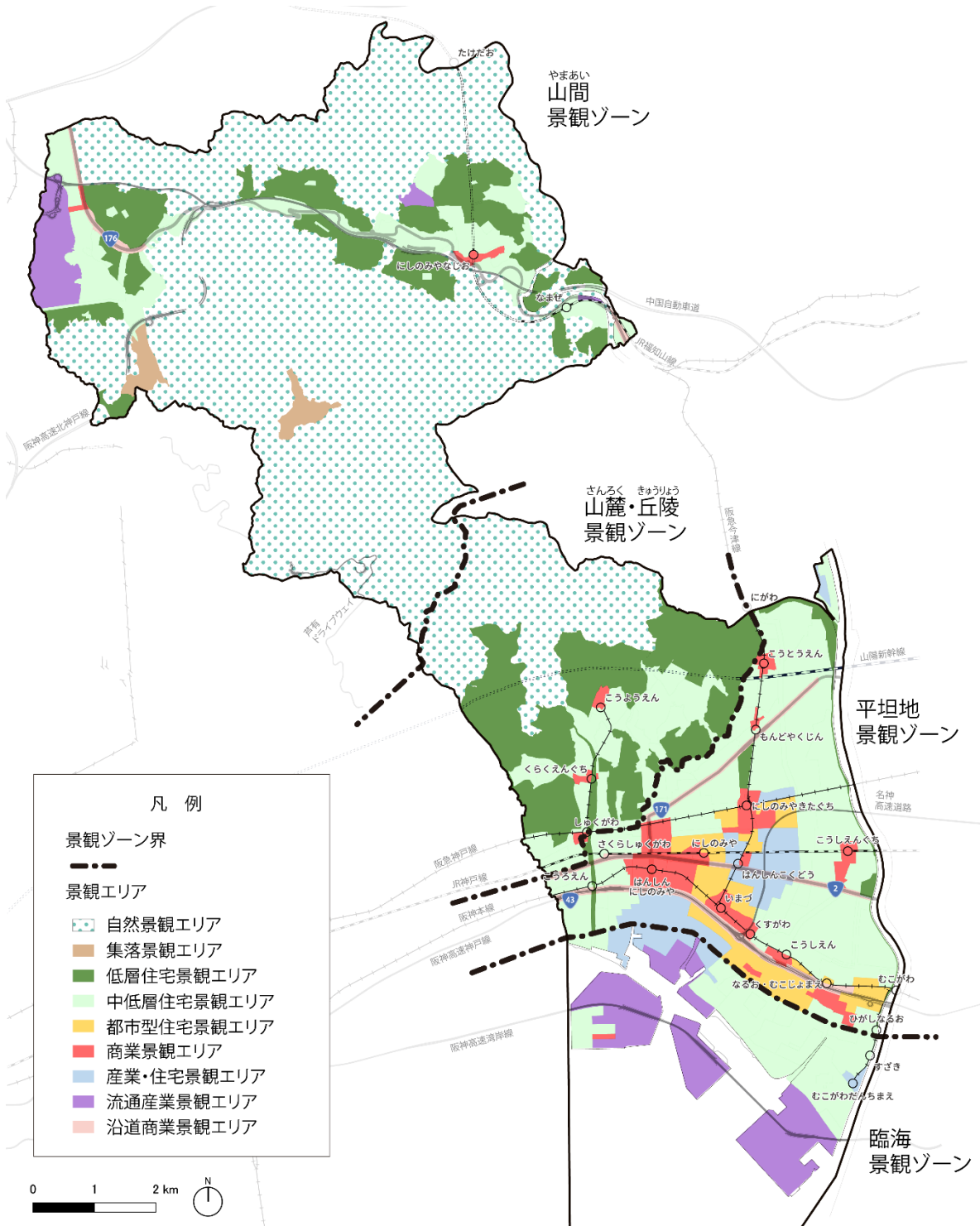
● 西宮市の景観構造



● 西宮市の景観構造（断面構成）



● 西宮市の景観構造（景観エリア）



(4) 景観ゾーン・景観エリアの景観形成の考え方

山間景観ゾーン

■ 景観形成の基本的な方向性

周囲を取り巻く豊かな自然と調和した景観の形成

景観の背景となる美しい山並みや、四季の移ろいや多様な生物を身近に感じることができ
る山林、樹林、河川、農地等の自然と、旧集落や住宅地、産業団地等が調和した緑豊かな自
然景観の形成を図ります。

山麓・丘陵景観ゾーン

■ 景観形成の基本的な方向性

緑が連なり市街地から美しく眺められる景観の形成

坂や丘等の起伏に富んだ地形をいかし、庭木や生垣、斜面緑地等の豊かな緑が立体的に広
がる景観を形成するとともに、背景となる六甲山系の山並みと一体となって緑が連なる美し
い眺めを形成します。

平坦地景観ゾーン

■ 景観形成の基本的な方向性

多様な景観要素が調和してまとまる景観の形成

季節感あふれる豊かな緑や建築物等の配置・規模、形態・意匠・色彩等の調整を通じて、
さまざまな土地利用と、そこにみられる多様な景観要素の相互の調和を図り、それぞれの地
区の個性に応じてまとまりつつも、山と海をつなぐ潤いある統一感を感じられる景観を形成
します。

臨海景観ゾーン

■ 景観形成の基本的な方向性

海とのつながりを感じられる景観の形成

海への眺めや海からの眺め、海岸線の眺めに配慮し、臨海部全体として海を意識した
統一感のある景観を形成するとともに、海へと緑がつながり、開放的で潤いのある景観
を形成します。



■ 景観形成の基本的な方向性

豊かな自然要素を守りいかした自然景観の形成

開発等による山林の伐採や無機質な工作物の建設等により、四季の移ろいや変化に富んだ自然景観の美しさを損ねてしまっているところも見られます。

山や川、樹林等により生み出される緑豊かな自然環境が常に主役となり、それを守りいかした景観を形成します。



金仙寺湖と畑山



武庫川溪谷



甲山森林公園



甲山



鷲林寺橋



座頭谷



景観ゾーン			
山間	山麓・丘陵	平坦地	臨海



■ 景観形成の基本的な方向性

歴史を感じる穏やかで開放的な集落景観の形成

建築物の建て替えや土地利用の変化により、旧集落で受け継がれてきた空間構成や伝統的建造物等が失われ、歴史や趣のある集落景観が失われてきているところも見られます。

旧集落の伝統的な民家や空間構成を尊重しながら、周囲の田園や山並みと一体になって織りなす穏やかで開放的な集落景観を形成します。



山口町船坂



山口町船坂



山口町船坂



山口町船坂



山口町中野



山口町中野



山口町中野



景観ゾーン			
山間	山麓・丘陵	平坦地	臨海



■ 景観形成の基本的な方向性

うるおいと落ち着きある住宅景観の形成

建て替えや宅地の細分化等により、石積や生垣・庭木が失われ、ゆとりのない無機質で無表情な印象を与える住宅景観が増えつつあります。

背後の山並みや斜面緑地、河川等と、宅地の生垣や庭木が一体となって、緑とうるおいにあふれる空間を構成し、暮らしの場として心地よい、落ち着きのある住宅景観を形成します。



東山台



鷺林寺南町



一里山町



城山



奥畑



仁川町



上甲東園



甲風園



景観ゾーン			
山間	山麓・丘陵	平地	臨海



■ 景観形成の基本的な方向性

うるおいと多様な暮らしが調和する住宅景観の形成

様々な規模の建築物が存在しているなか、比較的大きな建築物が、周辺に突出感や圧迫感を与え、まちを分断してしまっているところも見られます。また、山間、山麓・丘陵では斜面緑地等の地形の特性や自然景観を十分にいかせていないところも見られます。

背景となる山や海等の自然景観を守りいかすとともに、新たな緑の創出や、まちなみや周囲のスケール感に配慮することで、規模の異なる住宅が調和するうるおいのある住宅景観を形成します。



東山台



東山台



東山台



高須町



枝川町



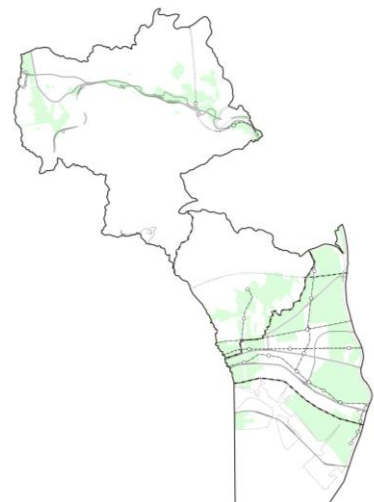
大社町



名塩新町



上甲東園



景観ゾーン			
山間	山麓・丘陵	平坦地	臨海



■ 景観形成の基本的な方向性

明るく快適な市街地住宅景観の形成

低層から高層までの様々な規模や、様々な用途の建築物が混在し、それらの違いから景観的不調和を生じているところも見られます。また、周辺に自然がなく、通り沿いの緑も不足しているため、無機質で乾いた空間を形成しているところも見られます。

様々な用途や規模の建築物が、互いに配慮しながら共生し、新たな緑とゆとりを創出しあうことで、明るく快適な市街地住宅景観を形成します。



津門大塚町



両度町



森下町



高松町



両度町



景観ゾーン			
山間	山麓・丘陵	平坦地	臨海



■ 景観形成の基本的な方向性

地域の顔として賑わいと品格を感じる商業景観の形成

景観形成が賑わいに偏ることにより、派手な色彩の建築物や屋外広告物、過剰な照明等、景観阻害となるものが生じやすい環境にあり、まちの玄関口として、質が高く魅力的な景観形成が十分とは言えないところも見られます。

多くの人々が集まる市及び地域の拠点として、賑わいを感じるとともに、質が高く魅力的な印象を与える、地域の顔にふさわしい景観を形成します。



市役所前線



阪急西宮北口駅南側



阪急西宮北口駅南側



阪急西宮北口駅東側



甲子園口駅北側



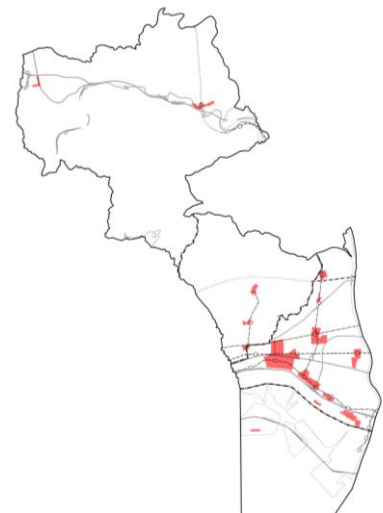
阪神甲子園駅前



鳴尾・武庫川女子大前駅南側



今津駅北側



景観ゾーン			
山間	山麓・丘陵	平坦地	臨海



■ 景観形成の基本的な方向性

活力や親しみを感じる産業・住宅景観の形成

工場等の業務施設と住宅の混在する環境で、互いにとって快適な環境づくりが必要となりますが、配慮の結果、工場等は地域から閉じた印象を与えるところも見られます。

工場や企業、住宅が立地するなかで、工場や企業の快適な操業環境を維持しながらも、周辺の住宅景観に配慮し、産業が身近に親しみを持って感じることができる景観を形成します。



白鷹緑水苑
写真提供：西宮流（にしのみやスタイル）



白鷹緑水苑と酒蔵館



大関恒和蔵



白鹿記念酒造博物館
写真提供：西宮流（にしのみやスタイル）



景観ゾーン			
山間	山麓・丘陵	平坦地	臨海



旧辰馬喜十郎住宅



■ 景観形成の基本的な方向性

自然と連なる明るく開放的な流通産業景観の形成

大規模な区画に工場や倉庫等が集まって立地しているため、景観に単調さや無機質で寒々しい印象を与えているところも見られます。特に海沿いエリアについては、海や対岸から眺められる対象になることから、より質の高い配慮が望まれます。

背後の海や山の自然景観を守りいかしつつ、敷地内の緑やゆとりの創出等により、明るく開放的な景観を形成します。



西宮浜産業団地



西宮浜産業団地



鳴尾浜産業団地



西宮浜産業団地



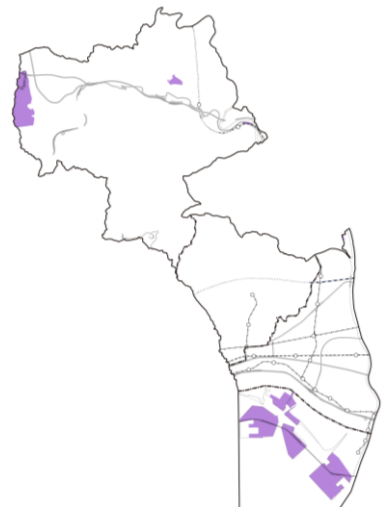
鳴尾浜産業団地



山口流通産業団地



山口流通産業団地



景観ゾーン			
山間	山麓・丘陵	平坦地	臨海



■ 景観形成の基本的な方向性

賑わいの中にも、秩序を感じることができる快適な沿道景観の形成

ロードサイド型の店舗等が多く立地し、派手な色彩の建築物や屋外広告物が見られ、沿道景観にまとまりがなく、無秩序な印象を与えているところも見られます。

多くの車や歩行者が行き交う軸として、多様な視点に配慮するとともに、路線ごとの役割や景観特性を踏まえ、賑わいの中にも沿道の統一感や連続性に配慮した景観を形成します。



国道 2 号沿道（六湛寺町）



国道 2 号沿道（産所町付近）



国道 2 号沿道（津門大塚町）



国道 176 号沿道（北六甲台付近）



景観ゾーン			
山間	山麓・丘陵	平坦地	臨海

(5) 景観軸の景観形成の考え方

河川軸

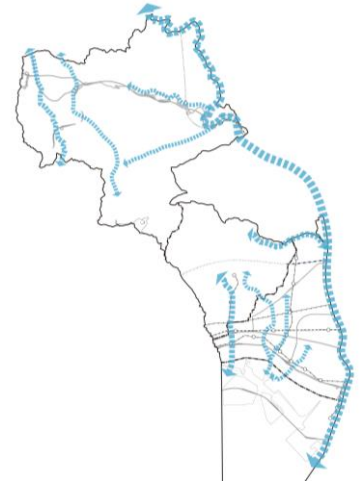


■ 景観形成の基本的な方向性

ゆとりと潤いを感じられる水と緑の景観ネットワークの形成

■ 景観形成にあたっての配慮の方向性

<ul style="list-style-type: none">河川敷緑地等の自然資源をいかし、四季の移ろいを感じられる景観を形成します。
<ul style="list-style-type: none">市街地にある自然性の高い貴重なオープンスペースとして河川環境の保全育成を図ります。
<ul style="list-style-type: none">身近に水を眺め触れ合えるよう親水性の高い水辺空間を形成します。
<ul style="list-style-type: none">河川を挟んだ両側の地域がお互いに見る・見られる関係にあることに配慮して景観の向上を図ります。
<ul style="list-style-type: none">上下流方向の眺望を享受できる視点場となることから、河川沿いの連続性に配慮した並木等の緑の軸の形成や、適切な維持・管理、建築物・工作物の規模・配置、形態・意匠・色彩等の工夫等、上下流方向の見通しに配慮した一体的な景観を形成します。
<ul style="list-style-type: none">橋梁は河川景観に配慮した形態・意匠・材料・色彩とします。また、ランドマークとしての活用を図るほか、眺望ポイントとなる場所では、歩行者の滞留空間の創出を図ります。
<ul style="list-style-type: none">夙川、武庫川、有馬川、仁川沿い等の河川敷緑地や並木、緑道は、臨海から平坦地、山麓・丘陵景観ゾーンに広がる住宅市街地の中で、特に広がりのある眺望景観を創り出し、豊かな緑を感じられる軸になることから、緑の連なりの保全と眺望に配慮した河川沿いのまちなみの形成を図ります。



夙川



武庫川



有馬川

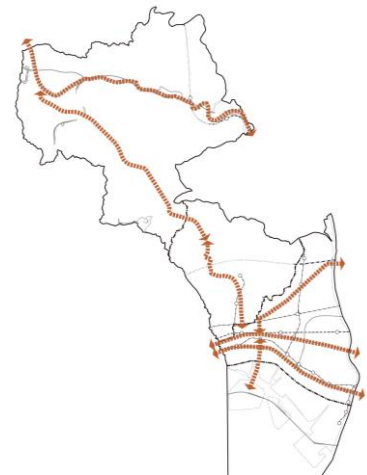


■ 景観形成の基本的な方向性

地域のつながりを感じられる道路景観の形成

■ 景観形成にあたっての配慮の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節感のある街路樹等が連なり、街の軸として、潤いや連続性のある道路景観を形成します。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 街路樹の樹種の統一や沿道の緑化、市民等と連携した道路景観の美化・維持管理等を通じて、路線ごとの親しみと個性ある景観の形成を図ります。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 沿道の建築物等の修景・緑化や、連続的な壁面後退、電線類地中化等によるゆとりと賑わいのある歩行者空間の創出により、歩いて楽しめる景観を形成します。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 節目となる交差点は、オープンスペースやシンボルツリー、照明等により景観の特徴づけを図ります。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高架道路については、都市景観や自然景観等との調和に配慮し、圧迫感のない形状等デザインの工夫とともに、修景緑化等を行います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺市町からの広域的なつながりや、景観ゾーン・景観エリアの特徴に配慮した景観を形成します。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道 2 号や大沢西宮線（山麓・丘陵景観ゾーン以南）は、建築物等の高さや形態・意匠・色彩等の連続性を創出し、軸方向の眺めを強調するまちなみを形成します。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道 43 号は、高架道路や遮音塀等の人工物が占める割合が高いため、沿道の街路樹の育成や緑化を重点的に図り、潤いのある景観を創出します。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道 171 号や国道 176 号（山口地域）は、建築物や屋外広告物等が調和したまとまりと秩序ある沿道景観を形成します。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道 176 号（塩瀬地域）や大沢西宮線（山間景観ゾーン）は、沿道敷地の緑化等による周囲の自然と調和した緑の軸を形成します。



札幌筋線



主要地方道大沢西宮線



国道 2 号

山並み軸



■ 景観形成の基本的な方向性

広域的な緑のつながりを感じられる山並み景観の形成

■ 景観形成にあたっての配慮の方向性

- ・市内のみならず、市外や海等からも眺められる対象であることを意識し、山並みへの眺望の保全を図ります。
- ・山並みが背景となる場所では、建築物や工作物を眺望や遠景に配慮した計画にするとともに、敷地や道路の緑化により山並みの緑との連続性の確保を図ります。
- ・国立公園区域や近郊緑地保全区域等における多様な生物が生息する豊かな自然環境を保全し、四季の移ろいを感じられる山並み景観を保全・形成します。

海岸軸



■ 景観形成の基本的な方向性

ダイナミックに連なる水と緑の景観の形成

■ 景観形成にあたっての配慮の方向性

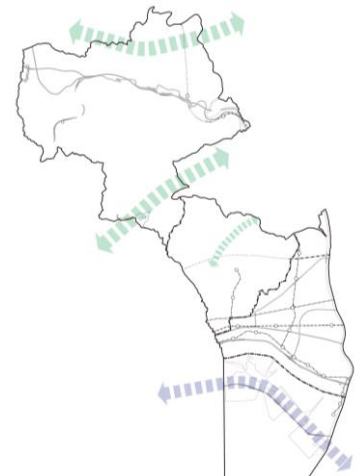
- ・埋立地や海に面する場所では、街路樹や敷地内の緑化等による緑量の確保と、開放的でうらおいのあるウォーターフロント景観の形成を図り、海や山からの眺めの中で、広域的な水と緑のつながりを感じられる景観を形成します。
- ・貴重な自然海浜を保全するとともに、海との近さをいかし、身近に自然を感じられる景観を形成します。
- ・海への眺め、海からの眺めに配慮し、全体としてまとまりが感じられるシルエットにする等、建築物等のデザインや色彩に配慮します。
- ・甲子園浜等の浜辺や御前浜公園のような自然海浜の保全・育成に努め、甲子園浜海浜公園や西宮浜総合公園等は海辺にふさわしい潤いと開放感のある景観形成を図ります。



阪神高速湾岸線から望む海岸線と山並み



西宮大橋から望む海岸線と山並み



(6) 景観核・景観拠点の景観形成の考え方

【景観核】

ランドマーク

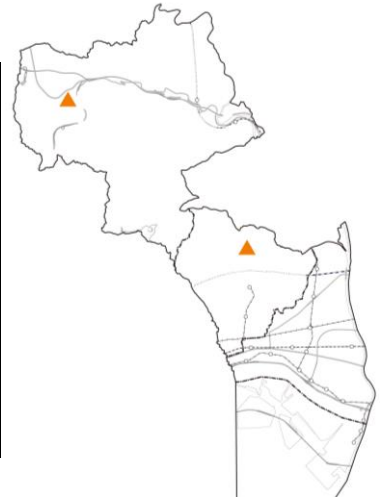


■ 景観形成の基本的な方向性

西宮の豊かな自然を象徴的に望むことができる景観の形成

■ 景観形成にあたっての配慮の方向性

- ・ランドマークとなる山の山容・植生並びにランドマークへの眺望を保全します。
- ・ランドマーク周辺の景観整備やアクセス環境の整備等を図り、市民に愛される憩いの場として効果的に活用します。
- ・甲山への眺望は、西宮市における景観形成の最も重要なポイントのひとつとして位置づけ、市民の景観に対する意識啓発や景観形成の方向性の共有化等を図ります。



甲山



夙川から望む



西宮浜から望む



学園花通りから望む



ニテコ池から望む



甲武橋から望む



新池から望む

丸山



金仙寺湖から望む



国道 176 号から望む



公智神社付近から望む

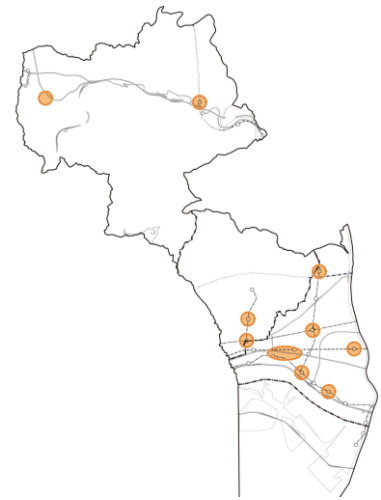


■ 景観形成の基本的な方向性

地域の顔となる個性と風格を感じられる景観の形成

■ 景観形成にあたっての配慮の方向性

- ・ 阪神西宮駅周辺、J R 西宮駅周辺、阪急西宮北口駅周辺の各地区は、本市の商業・業務機能や教育・文化機能、行政機能が集まる拠点として、市内外に誇れる西宮の玄関口にふさわしい印象的な景観を形成します。
- ・ 上記を除く主要な鉄道駅等の地域の中心地区は、身近な生活拠点として、地域住民の快適な生活環境づくりや景観形成に対する意識啓発につながるよう、地域の個性が感じられ、地域の人々が愛着を持てる景観を形成します。
- ・ 緑豊かで質の高い公共空間の整備と、公共空間との関係に配慮した建築物、工作物、屋外広告物等とし、地域の顔にふさわしい統一感と賑わいのある景観を形成します。
- ・ 建築物、工作物、屋外広告物等の配置・規模、形態・意匠・色彩等については、眺望景観の保全に配慮します。



J R 西宮駅前



阪神西宮駅前



阪急西宮北口駅前



J R 西宮名塩駅前



阪神今津駅前



阪神甲子園駅前



■ 景観形成の基本的な方向性

緑、石、水等の豊かな自然がおりなす住宅景観の形成

■ 景観形成にあたっての配慮の方向性

- ・ 各種制度を活用しながら、住宅地ごとに特色のある緑豊かなゆとりある景観を保全・形成します。
- ・ 景観重点地区等の制度を活用し、生垣や庭木等の緑の保全・育成、自然石を基調とした石積みや住宅地内を流れる小河川・水路の親水空間の保全・再生等により、豊かな自然を感じられる住宅景観を保全・形成します。
- ・ 地区景観の形成を方向付けている歴史的建築物を都市景観形成建築物に指定する等して、保全を図ります。
- ・ 現在に受け継がれる敷地の規模・形状の保全に努め、豊かな緑のなかに建築物が見え隠れするような住宅景観を保全します。



甲陽園目神山町



甲陽園目神山町



苦楽園五番町



上甲東園



上甲東園



殿山町・雲井町



殿山町・雲井町



南郷町・名次町



鷺林寺南町・剣谷町

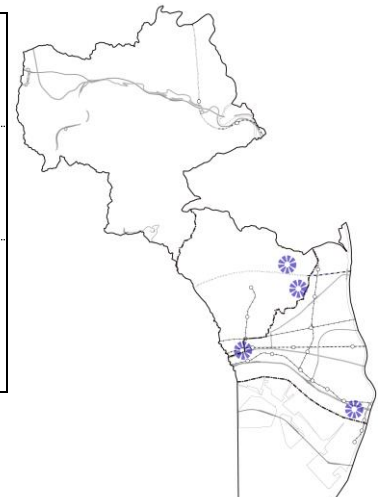


■ 景観形成の基本的な方向性

緑豊かで落ち着いたある文教景観の形成

■ 景観形成にあたっての配慮の方向性

- 文教施設として、落ち着いた潤いのある緑豊かな地域の拠点となる景観を形成します。
- 文教施設と周辺住宅地が一体となった緑豊かで潤いのある文教住宅地の景観の保全、育成を図ります。
- 景観地区、景観重点地区、都市景観形成建築物等指定等の制度を活用し、景観の核となる近代建築をはじめ、文教施設景観を特徴づける建築物や工作物、豊かな樹林、樹木や石垣等を保全します。



関西学院大学



関西学院大学前



神戸女学院大学



武庫川女子大学



武庫川女子大学 甲子園会館
(旧甲子園ホテル)



大手前大学

(7) 眺望ポイントの景観形成の考え方

眺望ポイント

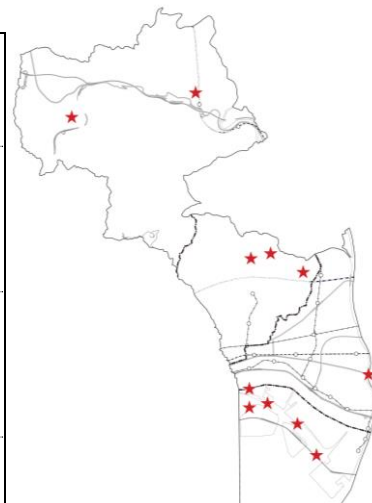


■ 景観形成の基本的な方向性

市内外に誇れる西宮の景観イメージの創出

■ 景観形成にあたっての配慮の方向性

- ・多くの人々が、眺望景観を気軽に享受でき、快適に楽しむことができるよう、視点場となる眺望ポイントの整備・管理を行います。
- ・西宮らしさを感じられる眺望景観の魅力を、さまざまな形で市内外へと発信し、西宮の都市イメージの向上と景観形成活動の展開等へとつなげます。
- ・眺望ポイントは、良好な眺望景観を享受できる視点場であると同時に、市内各所から見られる対象でもあることに配慮して眺望ポイント周辺の景観の向上を図ります。
- ・眺望景観には見上げる眺望や見下ろす眺望等があることを踏まえ、それぞれの眺望ポイントからの眺望景観の特徴に応じて各種制度を活用し、視点場・視対象・眺望空間のそれぞれの景観形成を進めることにより、眺望景観の保全を図ります。



学園花通りからの眺望



甲子園浜橋からの眺望



西宮大橋からの眺望



神呪寺展望台からの眺望



西宮浜総合公園からの眺望



武庫大橋からの眺望